

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(生命科学研究部(医学系))

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
(記入欄) ・医学科での特別臨床実習においてグループ分けを行う際、特別な偏りがないよう配慮している。 ・全学年、男女とも個人毎にロッカーを割り当てており、女子更衣室についても確保している。 ・育児中の学生に対し、要望があれば実習時に配慮し柔軟に対応している。 ・勉学と子育ての両立の心構えやアドバイスを女性先輩医師から直接聞くことが出来る環境を整えている。 ・「医学科学生連絡用」Moodle コース内に『ダイバーシティ～多様性の推進～』のページを作成し、関連する企画の案内や基本的な用語説明などを行った。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
(記入欄) ・医学教育部において、柴三郎プログラムに女性柴三郎コースを設定し、保育園への優先的入園、病児保育などの子育て支援や、出産・育児休学中もeラーニングで勉学の継続、メンターによる研究指導などを行う支援制度を設けている。 ・女性教員、学生によるランチ会を行ってきたが、令和2年度からは新型コロナウイルス感染症拡大予防のために対面で会合することが困難であった。令和3年度は医学科学生対象にMoodle コースを用いてのランチ会を2回企画開催した。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
(記入欄) 特になし
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
(記入欄) 特になし
その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。

記入欄)

- ・教員公募を行う際には、必ず、「熊本大学は、男女共同参画を推進しています。(詳細は、ホームページをご覧ください。<http://gender.kumamoto-u.ac.jp/>)
また、選考にあたっては、「男女共同参画社会基本法」の精神に則り、適性に行います。」を記載している。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。